

# こぶし vol.2

kobushi



## ごあいさつ

新年おめでとうございます。

一昨年から世界中に広がった新型コロナウイルスにより、みなさまには昨年も大変なご不自由をおかけしました。障害者の方のワクチン接種が遅れたことで、いずみえんでは感染者が発生しました。しかし、高齢者施設で利用者のワクチン接種は先行して実施していたため高齢者の方の感染者は少なく、感染・発熱したとしても症状は軽く短期で回復されました。ワクチン接種開始当初はいろいろな理由で接種が遅れるような状況でしたが、ワクチン接種が進んだお陰で感染者も少なくなり、昨年秋頃から面会の規制を緩め、限られた時間ですが対面での面会も再開しました。

新しい年が始まりました。大田区のいずみえんでは1月12日より3回目のワクチン接種が始まる予定で、職員も同時に接種することが決まりました。2回目までは施設職員の同時接種が叶わなかったため、今回は大田区の特養・養護施設長会から「利用者と職員の同時接種」について、要望書を提出しました。他施設でも3回目接種に向けた動きをしています。

わたしたちは不足しているサービスや改善すべきことについて、各自治体に要望・提案することで、ご利用者にとって本当に必要なことや正しいことにきちんと目を向けた法人運営を行っていきます。

本年も、まっすぐに未来を見つめ、挑戦することを厭わず、前に進んでいきます。

社会福祉法人 徳心会 理事長 関根陸雄



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」





# もちつき



令和3年12月17日に、餅つき大会を開催いたしました。

午前中は、都市型と認知デイのご利用者を中心に、「よいしょ！」と力強くついてくださったり、職員と一緒に餅を丸めたりと、大盛り上がりでした。

午後からは、特養と支援のご利用者と一緒に、午後も午前中に負けないほどの盛り上がりを見せ、たくさん笑顔があふれる時間となりました。

お餅をついた後は温かいお汁粉を振る舞い、ご利用者からも「美味しいね」「また食べたいからよろしく」というお言葉をいただきました。

午後についたお餅は、大きく丸めて鏡餅に。それぞれのユニットやフロアに飾り、新しい年を迎える準備をしました。

今後も感染予防を図りながら、季節の行事ごとを取り入れ、生活に彩りを添えて参ります。

支援1課 杉本大智



# D Cafe

Dカフェ

こぶしえんでは『NPO 法人 D カフェ net 様』のご協力のもと、毎月第4日曜日に“Dカフェ・プロムナード”を開催しています。コロナ禍ではありましたがみなさま

のご協力のもと7月に第1回を開催、以降11月の開催にて早や5回目を迎えました。

まずは名前の由来をお教えます。Dカフェの“D”は『誰でも』、“プロムナード”はこぶしえん正面から清水稲荷通りへの散歩道として施設プロムナードを一般開放していることから命名しました。『誰でも』の由来の通り、近隣住民の方、認知症をお持ちの方やそのご家族、民生委員様、地域包括支援センター職員様など、多くの方にご参加いただいております。みなさまと美味しいコーヒーを飲みながら、談笑したり、工芸品を作ったり、マッサージしたりなど、心がホッとするとするひと時を共有できることがこのカフェの醍醐味です。今後も定期開催をしていきますので、ご参加を心待ちにしております。

相談課 課長 小河和泉





## ■ 敬 老 式 典 ■

令和3年9月20日に、初めての敬老のお祝いを開催することができました。新型コロナウイルス対策として、午前の部、午後の部と2回に分け、限られた人数ではありますが、長寿と健康をお祝いさせていただきました。

これからもこぶしえんで楽しく元気に過ごせるように、こぶしえんで良かったと思われる施設にしていきたいと思えます。

介護3課 課長 前田雄貴



## デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー

こぶしえんです!



デイサービスでは、豊かな季節の移ろいと共に、ご利用者の日常を共有させていただいています。フロア内で取り組まれる活動はもとより、天候に恵まれた折には、ベランダにテー

ブルや椅子を運び出し、富士山を借景におやつをいただくこともあります。

また、こぶしえんが目黒区のほぼ中央に位置することから、近隣での外出先にも恵まれ、名所旧跡の行事等に触れあうことにより、ご自身の歴史を振り返られる機会をお持ちいただくことができます。

相談課 佐々木康子





# 栄 養 係 コ ラ ム

食に携わる仕事をしていると、「ハレとケ」や春夏秋冬がある日本の奥深さや面白さに触れる機会が多くあります。その最たる例がお正月です。

私の地元、鹿児島県・奄美大島では、お雑煮やお節といった文化はなく、三献(①お餅の吸い物、②たこのお刺身、③鶏や豚の吸い物)がお正月の料理です。お節を作らないのは、暑い地域ゆえに、作り置きという概念がなかったからかもしれません。

こぶしえんが初めて迎えた新年。元日には多くのご利用者が「うちは丸餅で白みそだったよ」「日本海がすぐそこだったから、鰯を必ず食べていたね」など、故郷の正月料理や風景などを懐かしそうにお話してくださいました。

こぶしえんでは、月に1度47都道府県の郷土食を提供する日があり、献立はその地域のハレの日に召し上がる料理を参考にしています。

月に一度のこぶしえん流『ハレの日』を楽しんでいただければと思います。

総務課 係長 龍めぐみ

## クリスマス会

令和3年12月25日に、こぶしえんで初めてのクリスマス会を行いました。支援事業部では、活動の時間にクリスマスの飾りを作り、フロア内に装飾しました。クリスマス当日はランチビュッフェを行い、ご利用者の好きなものを召し上がっていただきました。

また、こぶしえんからのプレゼントとして職員の手作りのクリスマスカードを添えた、ルームシューズを渡しました。「暖かい、ありがとう」「楽しかった」とご利用者が喜んでいただき、笑顔であふれるクリスマスになりました。



支援1課 田原彩華



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年の4月に開園をし、無事に年を越すことができました。これもひとえにこぶしえんを支えてくださるみなさまのおかげです。少しでもその御恩をお返しできるように、職員一同、より良いサービスの提供に努めます。本年も何卒よろしくお願い致します。

総務課 係長 府川健



## こぶし vol.2

発行 社会福祉法人 徳心会  
福祉施設 こぶしえん 広報委員会  
〒153-0064 東京都目黒区下目黒6丁目18番2号  
TEL.03-5722-5550 FAX. 03-5722-5570

発行人 統轄園長 山村修司  
編集人 広報委員長 府川健  
発行日 令和4年1月15日  
E-mail kobushien@tokushinkai.jp  
H P <https://tokushinkai.jp/>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。  
※撮影のため一部マスクをはずしております。